



ばるっこ

学校教育目標

～豊かな感性、確かな学力を身に付け、
たくましく未来を拓く子どもの育成～

中原小 めざす3つの「あ」

あいさつ **あ**りがとう **あ**きらめない

北九州市立中原小学校 校長 針尾 泰久

令和6年度 後期がスタートしました！

10月15日（火）の1校時に、中原小の後期の始業式を行いました。校長からは、「当たり前行動とは何か、当たり前行動ができるようにしましょう」という話をしています。具体的には、下記の内容です。

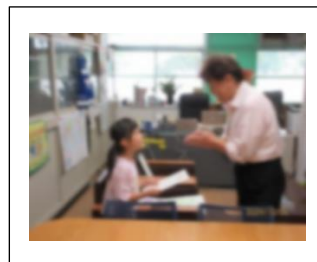
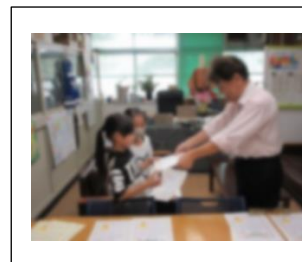
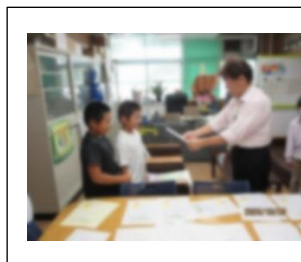
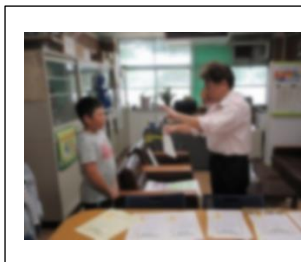


長野県にある円福寺というお寺に藤本幸邦さんと言われる、ご住職がいらっしゃいました。ご住職は、今からおよそ80年前に起こっていた大きな戦争があった後、家もこわされ、住むところもなく、また、お父さんやお母さんがいない子どもたちをたくさん預かり、ある意味、家族のように育てていたそうです。ある時、ご住職は、玄関にあったその子たちの靴が乱れているのを見て、次のような詩を創ったそうです。

はきものをそろえると 心もそろう 心がそろうと はきものがそろう
ぬぐときにそろえておくと はくときに心がみだれない
だれかが みだしておいたら だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと 世の中の人の心もそろうでしょう

実は、この詩は、中原小の下足置き場にも掲示してあります。子どもたちの中には、この詩が掲示してあることは知っている子どももいるようでした。「自分の靴をまず揃えることが大切」であり、「それができる人は、他の人の靴を揃えることもでき、気持ちのよい学校や社会になる」という意味がこの詩には込められています。普段行っている挨拶や言葉遣いも含めて、「当たり前行動」とはどういうことか、これを機会に子どもたちに考えてほしいと思っています。

家庭学習マイスター賞・あいさつ名人の表彰を行いました！



10月8日（火）に、家庭学習マイスター賞、あいさつ名人の表彰式を行いました。家庭学習マイスター賞は、家庭において宿題や自主学習を継続して頑張った子どもたち、あいさつ名人は、先生や友達、地域の方に進んで気持ちのよいあいさつをすることができた子どもを表彰しています。今後も、ご家庭において、家庭学習やあいさつを励行していただけたらありがたいと思っています。また後期にも表彰をします。今後も、子どもたちの取り組みを期待しています。